



しゆくふく Blessing



2012年4月 No. 89

〒565-0824 吹田市山田西3-55-7 TEL06-6875-0031

今日ありて 辰川澄子作詞

1)きょうありて	山はうつくし	2)きょうありて	きのうなつかし
きょうありて	海はうつくし	きょうありて	あすも望まし
あめつちの	つづくかぎりは	悠久の	ときをつたえて
生くるもの	すべてかがやく	過ぐるもの	すべてとうとし
おごそかに	み神をあおぎ	たからかに	み神をたたえ
みひかりの	道をばあゆまん	ひとすじの	信仰に生きん

3)きょうありて	生くるよろこび
きょうありて	祈るしあわせ
きわみなき	愛の深さに
生かされて	すべて安けし
みめぐみを	日ごとに謝して
ひたすらに	み神に仕えん

(日本人が作った讚美歌の名作のひとつです。作詞者は満州から引き揚げて、長く農業に従事する中でこの詩が生まれたとのこと。神様に与えられた世界と人生をそのままに受け入れ、肯定する静かな確信が心を打ちます)

苦しみから学ぶもの

「苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。」

このようなことを言う人がいたら、耳を疑ってしまいます。しかし、人生で出会った苦しみの中で、誰かに強制されてではなく、自らこのような真理を発見した人々がいたことも歴史の事実です。

冒頭の言葉は、古代イスラエルの宗教詩「詩篇」の一節です。次の言葉が続きます。

「私はそれであなたのおきてを学びました。」（詩篇119・71、新改訳聖書による）

「おきて」とありますが、この場合「戒律」という意味合いは薄いようです。人生の真理、生きる意味、命の大切さを苦しみを通して学び取った、そしてそれらがまことの神に由来するものであることを認めた、という意味に解釈したほうがこの詩のメツ

セージに忠実だといえましよう。

人生に苦しいことな

どないほうが良いと、

誰もが考えます。しか

し人間が真理を求めて

生きる存在であるとす

れば、そして苦しみを

通してしか発見できな

い真理や真実というも

のがあるとすれば、「苦しみにあったこと

は幸いだった」と言い得る場合が確かにあ

るのでしよう。このような見方を、他人が

強制することはできません。苦しんだ人が

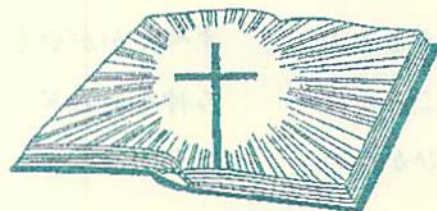
最初から、このような受け取り方をするこ

とも不可能でしょう。それでも、「この苦し

みは私の人生にとって益となるのだ」と信

じることができれば、前を向いて生きる力

がそこから生まれてくることでしよう。



明治時代の日本を代表するキリスト者に、

内村鑑三がいます。彼は有名な「不敬事件」

で世間の激しいバッシングを受けていた最

中に瀕死の病にかかり、その上失職しまし

た。さらに、困難な中で彼を支え続けた最

愛の妻を病気で天に送り、後には十八歳の

長女を天に送ることもなりました。

『基督信徒の慰め』には、最愛の者を失っ

た時の悲しみ、痛み、信仰の揺らぎと疑問

が赤裸々に描かれています。神に対する彼

の信仰は、多くの悲しみと痛みの中で練り

鍛えられたものでした。

内村の弟子の一人に、岡山県津山市在住

の森本慶三がいました。彼の妻は産後の出

血のため、三十二歳の若さでこの世を去り

ました。悲痛の中にあつた森本に、内村が

送った手紙が今に遺されています（現代の

言葉に意識して引用します）。

奥様が天に召された後も、天の父なる神様のお恵みが君の上に絶えずあることを確信しています。悪魔は信仰を失

わせようと時に烈しく攻撃してきますが、忍耐されることが大事です。天の父は良いときに、御心がどこにあるかを明らかにしてください。小生も昨年の傷がまだ癒えておりません(長女を失ったこと)。時々天国が恋しくなります。しかし、この悲痛にも打ち勝つて

余りある慰めがキリストの内にあることを、毎日少しずつ教えられています。

悲痛のための最良の薬は、他の人の為に活動する事です。君がこの良薬を多量に服用されることをお勧めします。

森本は、「悲痛のための最良の薬は、他の人の為に活動する事です」との内村の励ましの言葉を受け止めて、津山基督教図書館を設立しました。苦しみ、悲し

みの中から人生の真理を学び取り、その経験をプラスに変えていった彼らの生き方から、私たちも学びたいものです。

唯一の神、愛なる神様を信じる人にとっては、すべてのことには意味があります。どれほどつらい経験でも、その痛み、悲しみの中から学び取った真理を活かして他者の慰めのために生きる生き方が可能となるのです。

東日本大震災から1年が過ぎました。大切なものを失い、今なお苦しみの中におられる方々がそこから立ち直り、立ち上がることができるようになる日まで、祈り、支え、励まし続けたいと願われます。

2012年復活節
千里聖三一教会牧師 金井由嗣

2012年イースター(復活節)諸集会ご案内

- 4月1日(日) 10:15~ 受難週(パーム・サンデー)礼拝
- 4月5日(木) 19:30~ 聖木曜日聖餐礼拝(最後の晩餐を記念して)
- 4月8日(日) 10:15~ イースター礼拝(キリストの復活を記念して)
- 4月15日(日) 10:15~ 召天者記念礼拝(復活の希望とともに)
- 4月22日(日) 13:30~ 山田子どもイースターお楽しみ会



どの集会もご自由にご出席ください。礼拝では席上献金がありますが、個人の自由に任されています。

山田こども イースター おたのしみ会

4月22日(にちようび)
1じ30分から3じ30分まで

千里聖三一教会



スライドショー

「おおきなたまごはだれのもの」

- ◆ゲームやクイズ
- ◆イースターのこうさくなどの
おたのしみ
- 幼児、小学生が対象ですが、
お父さま、お母さま、家族の方々も
ごいっしょにお楽しみください。
- 無料です

